

「晴れ のち 使い過ぎ警報？」

～あなたの本日の使用量は？～

岐阜県教育委員会
教育研修課

1. はじめに

今年度実施された「全国学力・学習状況調査」において、初めて、携帯電話・スマートフォンと平均正答率との関係が集計・公開されました。テレビゲームについては昨年度も公開されていましたが、結果はほとんど同じでした。

- ☆ 携帯電話やスマートフォンの使用時間が長くなるほど、平均正答率が低くなる。
- ☆ テレビゲームの使用時間が長くなるほど、平均正答率が低くなる。

この結果から、テレビゲーム・携帯電話・スマートフォンを使用している児童生徒が、節度ある使い方ができず、生活習慣だけでなく学力にも大きく影響していることが分かります。

そこで、今回のリーフレットでは、

『児童・生徒が、節度ある使用を心がけるために、保護者と話し合い、使用時間について考える機会とする』

ことをテーマに作成しています。

2. ポイント解説



通信型ゲーム機の平日の使用時間が3時間以上の割合

小学校		
1年生…	3.	9%
2年生…	4.	1%
3年生…	4.	7%
4年生…	4.	6%
5年生…	5.	6%
6年生…	6.	4%
中学校		
1年生…	7.	5%
2年生…	10.	6%
3年生…	7.	3%

(2013 岐阜県教育委員会調べ)

ほぼ毎日使う人のうち、携帯電話の平日の使用時間が5時間以上の割合

小学校		
4年生…	1.	5%
5年生…	3.	1%
6年生…	4.	0%
中学校		
1年生…	5.	6%
2年生…	9.	7%
3年生…	9.	0%
高等学校・特別支援学校		
1年生…	17.	5%
2年生…	13.	6%
3年生…	15.	2%

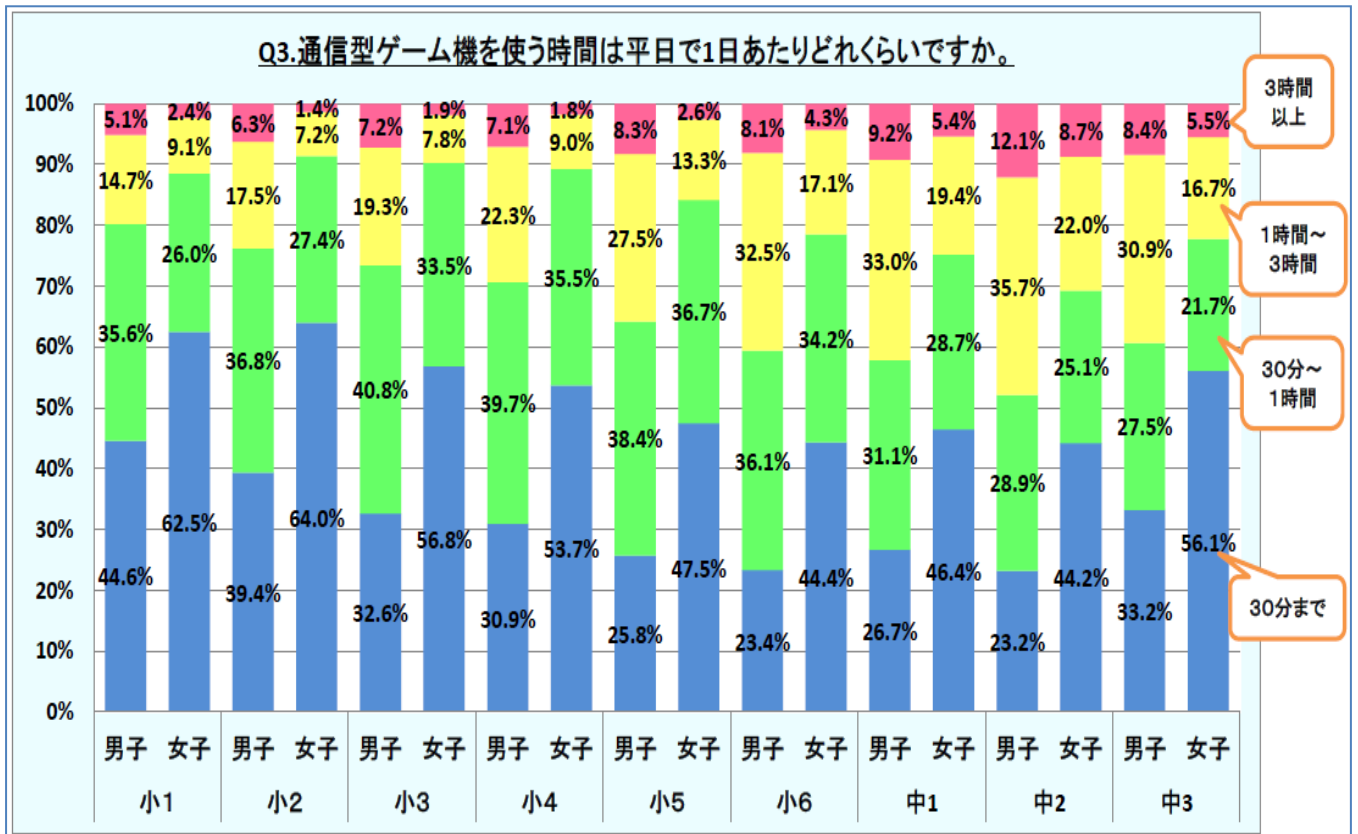
(2013 岐阜県教育委員会調べ)

デジタルタトゥーやリベンジポルノといった危険性もあります。これらの言葉を生徒自身が自分で調べ、対応策まで話し合うことで安全な使用方法を身に付けることも大切です。

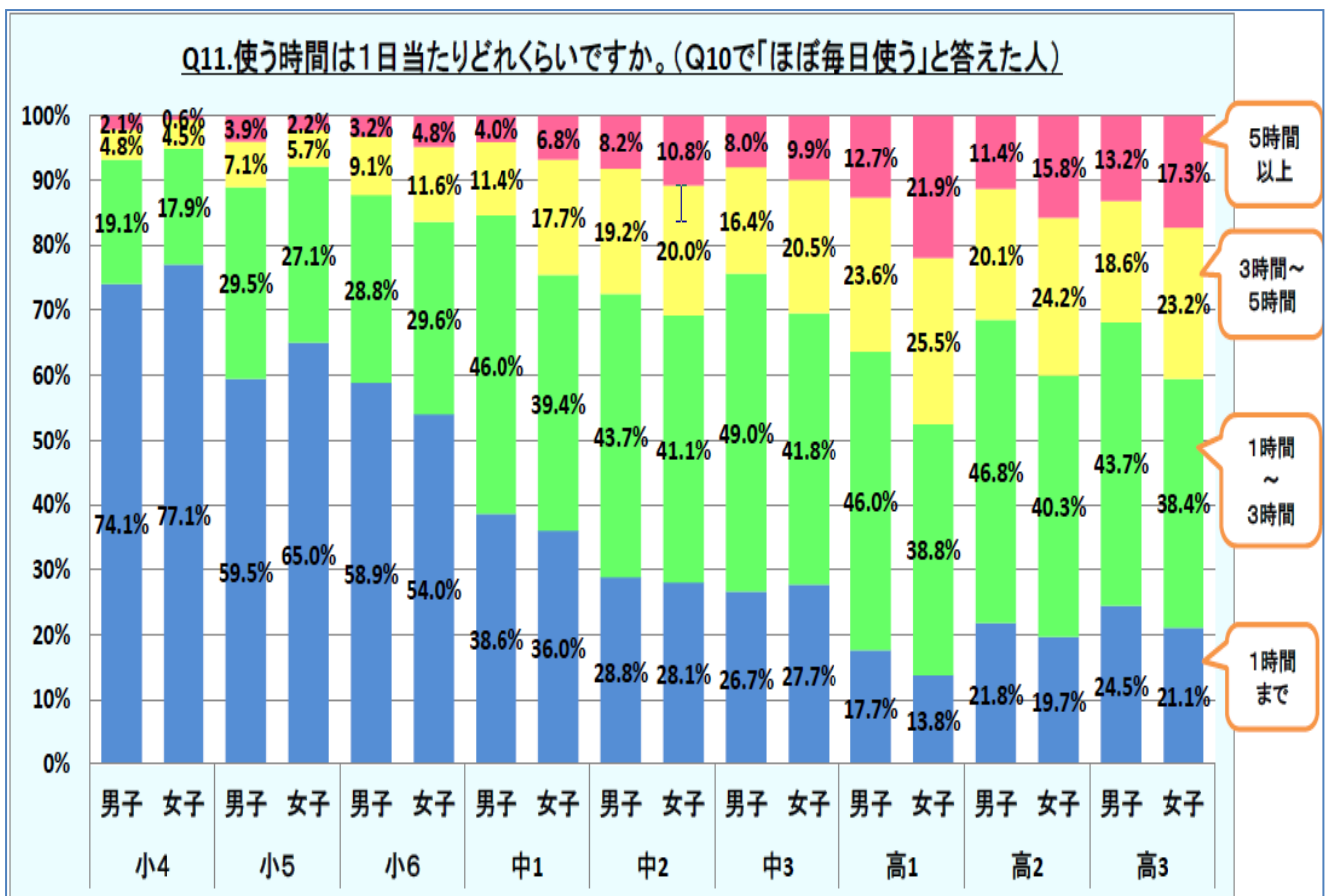
また、インターネット依存については、文部科学省は依存傾向が強い生徒を対象に、今年の夏に合宿を実施するなど喫緊の課題です。インターネットの使い過ぎや必要以上に個人情報に掲載するなど「ま（魔）」が差すことで危険性があります。

*参考資料1 「情報モラルに関わる調査結果 2013 (岐阜県教育委員会)」

【通信型ゲーム機の平日の使用時間】



【携帯電話 (含スマートフォン) の平日の使用時間】

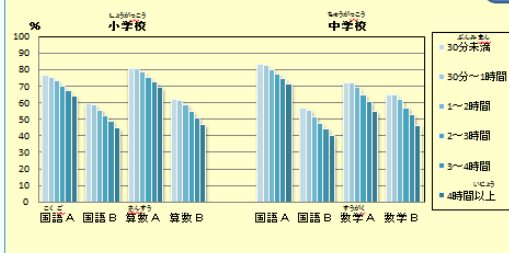


家族と考えよう、インターネットの上手な使い方！

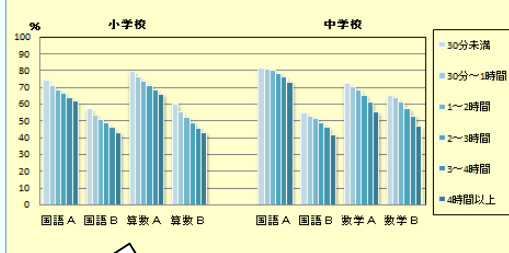
【平成26年度全国学力・学習状況調査の結果】

(国立教育政策研究所ホームページより)

テレビゲームの使用時間と平均正答率との関係



携帯電話やスマートフォンの使用時間と平均正答率との関係



まず、使用時間について、左のグラフを参考にしながら、家族で話し合おう。

次に、よさや危険性について、自分で調べ、書いてみよう。

よさ (例) 情報を集める、GPS機能

危険性 (例) 生活の乱れ、個人情報の流出

最後に、使い方のルールを決めよう。(例) 夜9時からは使わない など

【インターネット(SNS)を通じて被害に遭った子ども】

94.5% フィルタリングサービス未加入者

フィルタリングサービスで子どもを守りましょう！

平成26年度下半期 児童庁調べ

岐阜県青少年健全育成条例が改正されました。正当な理由がない限り、フィルタリングサービスを外すことができません。(ゲーム規制はペアレンタルコントロールで制限しましょう。)

インターネットの利用の「よさ」と「危険性」について、教えられるのではなく、自分で調べ、家庭で話し合うことが大切です。

児童生徒が自ら学び、納得した上で、約束づくりをすることが情報モラルを身に付けるためには重要です。

青少年が使用する携帯電話には必ずフィルタリングサービスの利用が原則義務づけられていますが、条例の一部改正により、サービスを利用しない場合は、「正当な理由」等を記載した書面を、携帯電話会社に提出することが保護者の義務となりました。

調査結果の数値は次の通りです。

*参考資料2 平成26年度 全国学力・学習状況調査結果より

平成26年度 全国学力・学習状況調査

児童生徒の学習・生活習慣と学力の関係

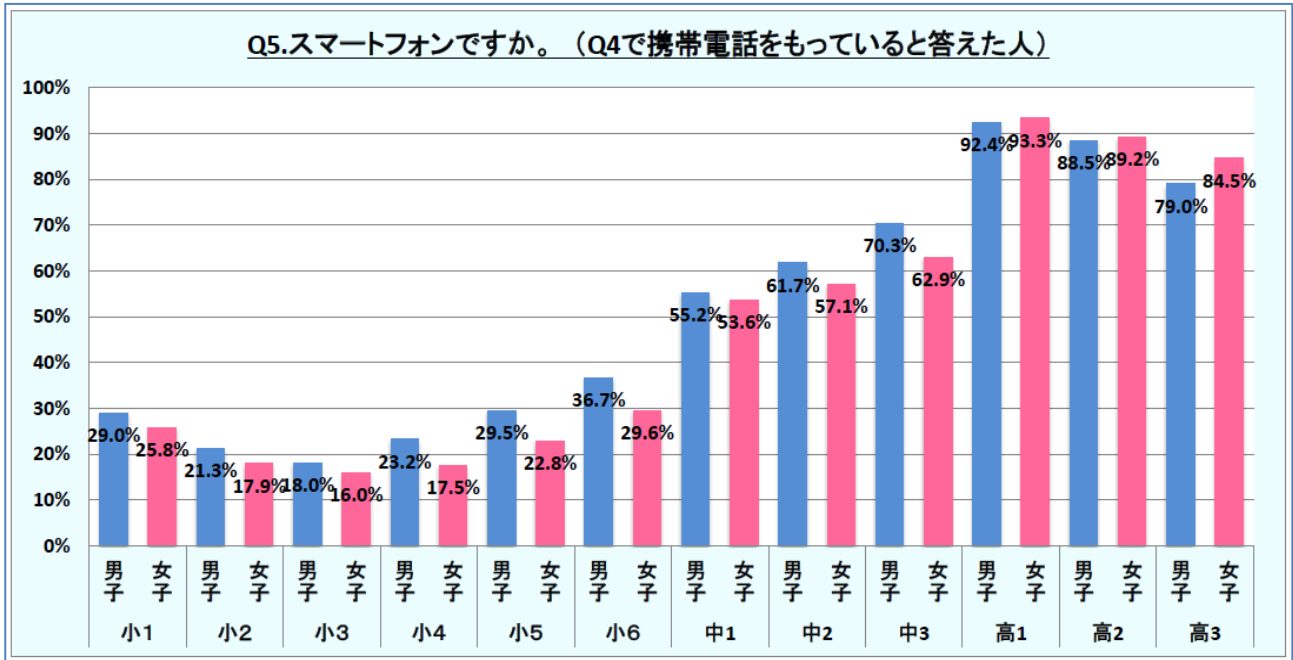
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)

	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
4時間以上	62.5	43.8	66.6	43.6	73.5	42.5	55.7	47.2
3～4時間	64.7	46.8	69	46.2	76.9	46.6	61.5	53.5
2～3時間	67	49.3	71.9	49.7	79	49.6	65.6	57.9
1～2時間	69.2	51.5	74.4	52.8	80.6	52.1	69.2	61.8
30分～1時間	71.3	54.1	76.5	55.8	81.3	53.6	71.2	64.2
30分未満	74.6	57.6	79.8	60.7	82	55.3	72.7	65.8

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。

	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
4時間以上	64.4	45.3	69.7	47.3	71.8	41	55.3	47
3～4時間	67.6	49.5	73	51.3	75.3	44.8	61	53.1
2～3時間	70.5	52.6	76	55.1	77.8	48.2	65.3	57.6
1～2時間	73.7	56.3	79.2	59.3	80.5	52.1	69.8	62.5
30分～1時間	75.8	59.1	80.9	62	82.9	55.9	72.4	65.5
30分未満	77.1	59.9	81.4	62.9	83.7	57.6	72.8	65.5

*参考資料3 「情報モラルに関わる調査結果 2013 (岐阜県教育委員会)」



スマートフォンを使用している児童生徒の割合が高くなっています。この場合、フィルタリングは2種類が必要となります。(3G・4G回線のフィルタリングとWi-Fiのフィルタリング)

*参考資料4 「インターネットトラブル事例集 (平成26年度版) 総務省」より

フィルタリングの設定で防げるトラブル事例

事例 a

見知らぬ人と会い、脅迫される

無料通話アプリやSNSなどを通して、見知らぬ人と会ってしまい、脅迫される。

事例 b

架空請求を受ける

不適切なサイトにアクセスしてしまい、軽い気持ちで会員登録。後日架空請求を受ける。

事例 c

不正アプリのインストールによる個人情報の漏えい

アプリの中には、悪意を持って作られたものが存在する。

事例 d

スマートフォンの過剰利用による生活習慣の乱れ

無料通話アプリやゲームなどに没頭して、睡眠不足になることも。

フィルタリングは、Webサイトとアプリの両方を設定することで、リスクを減らすことができます。

Webアクセス制限

有害情報、危険性のあるWebサイトにアクセスさせない。

アプリ制限

対象年齢でないアプリ、危険性のあるアプリを入れさせない。

3. 終わりに

安全に、そして安心してインターネットを利用できる児童生徒を育てるために、自ら学ぼうとする動きをつくることも大切です。「教える」だけでなく「ともに調べ、考える」指導・啓発を充実させていきましょう。